

目標達成計画

作成日：平成30年8月19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6、7	身体拘束や、高齢者虐待防止関連法などについて勉強会を行っているも、権利擁護について職員間で意識に差がある。どういった言動が虐待、身体拘束、不適切ケアになるのかを、職員間で統一出来ていない。	虐待の定義、身体拘束を行ってはいけない理由など、職員全員が理解できる。また、虐待に繋がる不適切ケアについても、どういったものが不適切ケアになるのかを理解出来た上で、利用者との関わりの中で無くして行けるようにする。	会議時に、高齢者虐待防止関連法、身体拘束、不適切ケアについて勉強会を行う。現在の業務での入所者との関わりの中で、不適切ケアになる可能性がある場面、事例を持ち出し、職員間で話し合い、改善する場を作る。	6ヶ月
2	49	外出に関して、年に6回程の外出、月に数回の散歩、2ヶ月に1回程の買い物、地域行事参加しか行っておらず、外に出る機会や、外部の人と関わる機会があまり作れていない。	日常的に散歩を通じた外出が行える様にする。ボランティア協力の元の散策外出は今まで通り行ない、それ以外にも入所者から要望があった際は、買い物や喫茶店の利用など、柔軟に対応していく。それらを通じて、地域の方に入所者の顔を覚えて頂く。	地域の行事は継続して参加していく。散歩については、1日のスケジュールに組み込み、日々の習慣となるようにしていく。買い物は月に2回は入所者を連れて出ていけるように環境作っていく。町内回覧にて、運営推進会議の議事録を提出し、メンバー以外の地域住民に参加を呼びかける。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。